

へ提出された。この要請に伴い、当協議会において、東京都町村新型コロナウイルス感染症緊急対策特別交付金で算定された医療機関等設置に伴う特殊な財政需要に応じた配分の額をもって支援に充てることが決定した。



▲公立福生病院

◆令和2年度福生市一般会計補正予算(第14号)  
(市民厚生委員会所管) 感染症対策事業の減額の理由は、

答 予算計上した際は、アルコール消毒液やマスク等が品薄状態で、大幅に価格が高騰していたが、徐々に品物が入手できるようになるにつれ単価も下がったことにより減額となった。

問 学童クラブ事業の特記事項に、新型コロナウイルス感染症地方創生交付金を財源振替するところがあるが、具体的にはどのような事業に充当されるのか。  
答 新型コロナウイルス感染症の影響により学童クラブへの登所を自粛した日数分について、学童クラブ育成料を日割り計

算して還付した市の負担分に充当する。

◆令和3年度福生市国民健康保険特別会計予算

問 特定健康診査の受診率向上のための取り組みは。  
答 特定健康診査勧奨を委託し、未受診者への勧奨通知を行うほか、継続受診を促す勧奨通知を新たな取り組みとして加える。

◆令和3年度福生市介護保険特別会計予算  
問 介護予防サービス給付費を令和2年度に比べ減額した理由は。  
答 近年、要支援者数の伸びが大きく、令和2年度は令和元年度と比べ増加すると見込み給付額を増額したが、認定者数が落ち着き、給付額を精査したことにより減額となった。

◆福生市の一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例  
問 改正の内容は。  
答 期末手当の在職期間の区分に応じた割合の表を改め、在職期間が1か月未満の区分を新設し、その場合の割合を100分の10とする。また、勤

勉手当は勤務成績に応じた手当であるため、職員に支給する勤勉手当の算定基礎から扶養手当を除外する。

◆令和2年度福生市一般会計補正予算(第13号)  
(総務文教委員会所管) 問 小・中学校防音機能復旧(復機)事業で契約時の状況は。  
答 空調設備工事が低入札調査基準価格を下回ったため、低入札価格調査において、最低価格で入札した業者に対し直接聞き取りをし、工事内容に適合した履行がなされると判断。

### 総務文教委員会

3月18日に委員会が開催され、8件の議案を審査し、原案のとおり可決及び同意されました。陳情1件は不採択となりました。

◆福生市職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例

問 改正の目的と内容は。  
答 職員の介護と仕事の両立を支援し、同一世帯の同居人や同性パートナーなど多様な生活スタイルに対応するため、現行の規定では要介護者の範囲は配偶者または2親等内の親族だが新たに同一世帯に属するものを加え、要介護者の範囲を拡大する。

◆福生市の一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例  
問 改正の内容は。  
答 期末手当の在職期間の区分に応じた割合の表を改め、在職期間が1か月未満の区分を新設し、その場合の割合を100分の10とする。また、勤

勉手当は勤務成績に応じた手当であるため、職員に支給する勤勉手当の算定基礎から扶養手当を除外する。

◆令和2年度福生市一般会計補正予算(第14号)  
(総務文教委員会所管) 問 ①小学校及び中学校運営事業、②小学校及び中学校教育環境整備支援事業の備品購入費の内容は。  
答 学校の新型コロナウイルス感染症対策として、①自立型サーモグラフィを小・中学校全校に1台ずつ配備し、感染リスクの低減を図る。②電子黒板を小・中学校全校に1台ずつ整備し、学級閉鎖等の場合におけるオンライン授業等で活用する。また、教室内の大型提示装置、いわゆるテレビ型モニターと授業で使用する端末を自席から無線でつなぐ画面転送装置を整備し、接触機会の低減等

を図る。

◆令和2年度福生市一般会計補正予算(第14号)  
(総務文教委員会所管) 問 ①小学校及び中学校運営事業、②小学校及び中学校教育環境整備支援事業の備品購入費の内容は。  
答 学校の新型コロナウイルス感染症対策として、①自立型サーモグラフィを小・中学校全校に1台ずつ配備し、感染リスクの低減を図る。②電子黒板を小・中学校全校に1台ずつ整備し、学級閉鎖等の場合におけるオンライン授業等で活用する。また、教室内の大型提示装置、いわゆるテレビ型モニターと授業で使用する端末を自席から無線でつなぐ画面転送装置を整備し、接触機会の低減等

を図る。

◆令和2年度福生市一般会計補正予算(第14号)  
(総務文教委員会所管) 問 ①小学校及び中学校運営事業、②小学校及び中学校教育環境整備支援事業の備品購入費の内容は。  
答 学校の新型コロナウイルス感染症対策として、①自立型サーモグラフィを小・中学校全校に1台ずつ配備し、感染リスクの低減を図る。②電子黒板を小・中学校全校に1台ずつ整備し、学級閉鎖等の場合におけるオンライン授業等で活用する。また、教室内の大型提示装置、いわゆるテレビ型モニターと授業で使用する端末を自席から無線でつなぐ画面転送装置を整備し、接触機会の低減等

を図る。

◆令和2年度福生市一般会計補正予算(第14号)  
(総務文教委員会所管) 問 ①小学校及び中学校運営事業、②小学校及び中学校教育環境整備支援事業の備品購入費の内容は。  
答 学校の新型コロナウイルス感染症対策として、①自立型サーモグラフィを小・中学校全校に1台ずつ配備し、感染リスクの低減を図る。②電子黒板を小・中学校全校に1台ずつ整備し、学級閉鎖等の場合におけるオンライン授業等で活用する。また、教室内の大型提示装置、いわゆるテレビ型モニターと授業で使用する端末を自席から無線でつなぐ画面転送装置を整備し、接触機会の低減等

を図る。

◆令和2年度福生市一般会計補正予算(第14号)  
(総務文教委員会所管) 問 ①小学校及び中学校運営事業、②小学校及び中学校教育環境整備支援事業の備品購入費の内容は。  
答 学校の新型コロナウイルス感染症対策として、①自立型サーモグラフィを小・中学校全校に1台ずつ配備し、感染リスクの低減を図る。②電子黒板を小・中学校全校に1台ずつ整備し、学級閉鎖等の場合におけるオンライン授業等で活用する。また、教室内の大型提示装置、いわゆるテレビ型モニターと授業で使用する端末を自席から無線でつなぐ画面転送装置を整備し、接触機会の低減等

を図る。

◆令和2年度福生市一般会計補正予算(第14号)  
(総務文教委員会所管) 問 ①小学校及び中学校運営事業、②小学校及び中学校教育環境整備支援事業の備品購入費の内容は。  
答 学校の新型コロナウイルス感染症対策として、①自立型サーモグラフィを小・中学校全校に1台ずつ配備し、感染リスクの低減を図る。②電子黒板を小・中学校全校に1台ずつ整備し、学級閉鎖等の場合におけるオンライン授業等で活用する。また、教室内の大型提示装置、いわゆるテレビ型モニターと授業で使用する端末を自席から無線でつなぐ画面転送装置を整備し、接触機会の低減等



▲自立型サーモグラフィ

## 特別委員会活動から：

### 横田基地対策特別委員会

3月18日に委員会が開催され、5件の議題について協議しました。

また、市議会及び委員会が防衛省に対して毎年度実施している要請行動に関して、来年度以降の要請に向けて、より伝わりやすい構成・内容となるよう見直しを行うことについて協議しました。

1 東京都と基地周辺5市1町による総合要請について

昨年12月に横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会が国及び米軍に提出した「令和2年度横田基地対策に関する要望書」について報告があった。

2 東京都が実施した航空騒音調査結果について

東京都環境局が毎年度実施している横田基地や羽田空港等の周辺の航空騒音の調査について、令和元年度の調査結果が都から公表された。市内では、第二中学校と第五小学校で調査されているが、ともに、環境基準に適合していた。

3 令和3年度防衛補助事業等の実施予定について

昨年7月の市議会及び

委員会による防衛省に対する要請行動で採択を強く要望していた事業について、令和3年度に実施予定のすべての事業が採択される見込みとなった。

4 令和3年度基地関係国予算について

令和3年度の政府予算案における防衛省所管の基地周辺対策経費と総務省所管の基地交付金等について報告があった。

5 横田基地に関する情報等について

①1月8日、12日、13日及び2月1日から5日の間、人員降下訓練が実施された。

②1月15日、横田基地周

辺市町基地対策連絡会から国及び米軍に対して、緊急事態宣言下における航空機の運用について、訓練や飛行運用の回数及び時間帯を考慮すること、基地周辺市街地上空での低空飛行及び旋回飛行を行わないこと等を要請した。

③横田基地においてワクチン接種が開始された。

▲防衛補助事業で整備したみずくらいど公園



▲防衛補助事業で整備したみずくらいど公園

## 編集後記

新型コロナウイルス感染症対策としてワクチン接種が始まります。まずは優先順位が高い人からの接種ですが、コロナの収束に向かって一歩近づいたと言つてよいでしょう。

今年も桜まつりをはじめ、ほたる祭り、七夕まつり、日米友好祭など、多くの催しが中止、延期となりました。新型コロナウイルス感染症を広めないために、市全体で気を付けていくことは重要であると考えます。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症対策による補正予算が多かったことから、議会運営委員会としては忙しい一年でした。予定外の臨時会が多くありましたが、それに合わせて議会運営委員会も多く開催しました。

市としては、職員の2分の1を在宅勤務としていた時期があったため、議会運営委員会の事前打ち合わせはリモート会議で行っていました。慣れない頃は失敗などもありましたが、最近では当たり前のように打ち合わせができるようになりました。

国としてはテレワークの推奨をしていますが、福生市議会としても今後導入が見込まれるタブレット端末を活用し、円滑なコミュニケーションや議員活動等の活性化を目指していかなければなりません。

## 議会改革に関する協議会から

福生市議会では、令和元年6月に「議会改革に関する協議会」を設置し、令和3年4月までに計20回の会議を開催し、議会改革に関する様々な事項について協議してきました。

### 【実施内容】

#### ◆予算や決算の審査における質疑方法の見直し

⇒一括質疑ではなく、事業や資料ページごとに質疑をすることで、傍聴者等にもわかりやすい質疑となりました。

#### ◆マチイロ(行政情報アプリ)を活用した議会だよりの配信

⇒発行日当日に配信、過去のバックナンバーも見やすくなりました。

#### ◆SNSを活用した議会の情報発信

⇒令和2年度は、会議や一般質問の様子、防衛省への要請行動など計76回掲載しました。

#### ◆福生市議会災害対応方針の策定

⇒令和2年度は、災害対応方針に基づく訓練を2回行いました。

#### ◆一般質問の質問回数の変更(試行実施中)

⇒よりわかりやすく明確な一般質問とするため、一問一答方式及び併用方式の場合、通告時間内であれば何回でも質問できるようにしました。

